

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	1	選択
担当教員			
富田 寿人・友次 克子・松本 直己			
添付ファイル			

講義概要	この科目は、“やらまいかプログラム”の一貫として、1年次後期に開講された「社会貢献活動」にひきつづくもので、学生がさらに地域に深く根ざした活動をするもの、すなわち地域貢献を実践するものです。さまざまな活動を体験するだけでなく、たとえば、教育現場において指導する体験をしたり、さまざまな地域の施設の活動において新しい企画をおこなったり等、学生がより積極的、自発的な活動を通じて、地域に深く貢献することを目的としています。これらの活動を通じて、大学生として、世の中のさまざまな問題を深く知ることにより視野を広め、また、さまざまな価値観を知り、自主性、社会性、積極性等、今後、バランスのとれた社会人になるうえでの重要な資質を身につけることに繋がります。
授業計画	<p>地域実践活動では、地域との触れ合いの中で、さまざまな活動を行います。たとえば、小学校や中学校の授業における授業のアシスタントや実験指導、放課後の課外活動の指導、等があります。</p> <p>[テーマ] 個々のテーマは年度毎に異なります。これまでの代表的なテーマを示します。 ・中学校・高等学校 部活動支援ボランティア ・学校教育アシスタント ・袋井市放課後子ども教室アシスタント</p> <p>[スケジュール] ①ガイダンス：この科目の趣旨や活動内容を理解するために詳しい内容説明を行います ②希望調査と登録：テーマごとの受講希望の調査を行います。テーマごとに定まる受講可能数に合わせた希望の調整ののち、活動のためのグループ編成を行います ③事前指導：小学校等、外部の施設へ活動に行くにあたっての事前研修を行います。 ④外部施設での活動：活動を実際に行います。 ⑤反省会：活動についての反省会、討論を行います。 ⑥報告会：活動成果の発表、およびそれに関する討論を行います。 ⑦報告書：活動報告書をまとめます。</p>
授業形態	選択した活動テーマにより異なる。 アクティブラーニング：①：3回、②：3回、③：2回、④：2回、⑤：3回、⑥：2回
達成目標	a) 入学当初よりは成長した大学生として恥じない自主的、積極的、社会性のある活動を行うことができる。 b) 現場や地域の人達とうまくコミュニケーションをとりながら、活動を円滑に遂行できる。 c) 活動現場の状況や問題点を把握しようと努め、自発的に新しい工夫を立案・計画し遂行することができる。 d) 活動を通じて視野を広め、人間的な成長が見られる。
評価方法・フィードバック	活動状況（履修状況や履修態度、積極性や自主性、創意工夫の姿勢や開拓精神、協調性）の点数を40点、報告書の点数を60点とし、計100点満点で評価する。 「原則として、報告書等に関するフィードバックは次回以降の授業内で実施する」
評価基準	評価は、秀：100点～90点、優：89点～80点、良：79点～70点、可：69点～60点、不可：59点以下とする。
教科書・参考書	教科書：各テーマごとに指定する 参考書：各テーマごとに指定する
履修条件	なし
履修上の注意	(1) テーマについては、年度毎に異なる。年度初めにどのようなテーマを実施するか等の説明会を実施する。 (2) 2年次後期開講科目であるが、前期のうちに説明会をおこない、各テーマへの配属や準備を行う。テーマによっては、人数制限等もありうる。 (3) 3、4年生でも受講可能である。
準備学習と課題の内容	必ず授業毎の体験や内容を十分理解し、自分のものにしてから次回の授業に積極的かつ自発的に取り組めるように臨むこと。 (毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度)
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:20%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:20%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	